

- (一)、小作制度（小作料、土地）ニ因ル直接利害
- (二)、大資本ト地主中心ノ經濟、政治制度ニ因ル直接ノ利害

0 全農ノ構成分子ト活動形態

イ、全農ハ貧農ヲ中心トスル大衆組織デアアル。
 ロ、農村労働者ハ別箇ノ組織トシテ成長セシメル。
 ハ、中農ハ全農ニ組織サレナイ、中農ハ事實上小作爭議ニハ参加シナイシ、全農ニモ入ラナイガモシ入レルトスレバ、全農ハ労働農民ノ組織トナリ、現在ノ段階ニ於ケル第一任務タル小作制度ニ對スル闘争ヲ充分ニ遂行シ得ナイ。
 ニ、全農ハ第二ノ任務ヲ日常不斷ノスローガンニカ、ザ、中農トノ共通利害ニオイテ共ニ活動スル、ソレニヨツテ影響力ヲ擴大セネバナラナイ。

ホ、全農ガカンパニヤ的ニ第二ノ任務ヲ闡フタメニハ、社會主義意識ト闘争能力アル全農組合員ガ活動シナケレバナラナイ、コレガ

次ノ段階ヘノ發展ノタメニモ欠クベカラザルコトデアアル。

外ノ問題

政府ニ對スル活動

イ、農業政策—政府ノトツタ種々ノ農業政策ハ今日ニ於イテコトゴトク失敗シタ。日本資本主義ノ經濟的危機ガ、矛盾ト欠陥ノモツトモ多イ農業制度ニ強ク現ハレテ來タカラダ。ソレデ、今後、農業問題ハ重大ナ政策問題トナロウ。勿論、中農本位ニ立テラレルノデアアルガ、矛盾ガ大キイダケニ資本家、地主ノ自己否定ノ方向ニ向フヨリ途ハナイ、コノコトハ彼等ノ政策ニ對シテ吾々ノ活動ナ活動ガ有利ニ、全國的ニ展開シウルコトヲ意味スル。ソノ多クハカンパ的形態ヲトラセルデアロウ。ソノ扱ヒ方ハ政策カラウケル直接ノ利害ヲトリアゲテ行クノデアアル。

農産物検査、米穀、拂下米、肥料、窮農土木事業、税金、國鐵運賃ノ引下ゲ、自作農創設低利資金ノ支拂ヒ延期、不在地主増加